

神戸市立いかわ幼稚園 学校評価報告書

神戸の教育が目指す人間像	教育ビジョン	神戸が目指す これからの学校の姿				
心豊かに たくましく生きる人間	自他を大切に 自ら考え 未来をつくる	人がつながり ともに創る みんなの学校				
<p>く学校 目り校 標のつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園生活の中で、幼児・保護者・教師が笑顔で生き生きと過ごすことができる。 ・教師同士が互いの立場を尊重し合い、忌憚のない意見を出し合うとともに、育てたい幼児像を共通理解し、協力しながら保育を進めることができる。 						
内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案	
(教育目標) 明るく元気な子 自ら考え行動する子 心豊かな子						
育てたい生徒の姿	自分の体に関心をもち、健康・安全に過ごそうとする	3	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びの中で体を伸び伸びと動かすことを存分に楽しめるよう、マットや巧技台などの用具やフープやボール、スクーターなど、幼児が興味や関心をもてる環境を整えていった。 ・継続して和太鼓やリズムジャンプ、キッズヨガに取り組んだことで体幹を鍛えたり、リズムに合わせて体を動かす楽しさを味わったりすることができた。 ・保健教育においては早寝早起き・バランスのよい食事・熱中症対策等、約束表を通して保護者へ啓発していき、園でも家庭でも取り組めるようにした。 ・月1回の避難訓練により、幼児が日常生活の中で自分の命を守ることを意識できるようにした。また、予告なしに訓練を行ったことで、臨機に対応する経験となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全に配慮した取組が行われている。 ・遊びやすい環境が整えられ、そのなかで興味や関心ももてるような工夫がある。 ・体幹が鍛えられるよう、和太鼓やリズムジャンプ、ヨガをうまく取り入れている。 ・約束表は家庭で保護者が共に生活習慣が身に付くよう意識して取り組むきっかけとなり、会話などのコミュニケーションの一つにもなっている。 ・月1回の避難訓練が自分たちの命を守る大切さが意識できる機会となっている。 ・園児数が減少し、人数が多い小学校生活への変化に、子供自身が対応していけるかが、少し気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外で体を動かして遊びたい環境づくりの工夫を継続して行っていく。 ・今年度の幼児の姿から、次年度の保健指導や約束表のねらいについて見直しを立てていく。 ・全園児が集まって遊ぶ機会を多くもち、少しでもたくさんの友達とふれ合える場となるようにする。また、幼稚園交流の機会を有効に活用し、いろいろな人と自分からかかわる機会としていく。 	
	身近な環境や様々な人に自らかかわろうとする	4	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が自ら好きな遊びを見つけて、夢中になって遊べるように時間の確保をしたり、遊びの様子や幼児の要求に応じて環境を整えたりしていった。 ・1学期より異年齢のかかわりをもてるように教師自身が意識していくことで、互いのクラスの遊びにせんと入って遊ぶ姿が見られた。また、小中学校や地域の高齢者の方との交流も対面で実施したことでつながりができていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら好きな遊びを見付けられるような環境設定や時間配分がされている。 ・異年齢とのかかわりがしげんとできていく。また、小中学校、地域の高齢者との交流を通して、自分から様々な人にかかわろうとする気持ちが育っている。 ・1年間の成長が大きく、頼もしく感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が主体的に活動していくためには、まず幼児理解が必要である。教師間で幼児理解を深め、興味・関心を探る機会である週に一度のカンファレンス(20分間)を継続していく。 ・日々の生活の中で4歳児が憧れの気持ちをもったり、5歳児が4歳児に思いやりの気持ちをもってかかわる姿につながるようにしていく。 	
	身近な自然にかかわるなかで、命あるものを大切にしようとする気持ちをもつ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然とのかかわりのなかで、心動かす感動体験を積み重ねたり、思いやりの気持ちや命の大切さに気付いたりできるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して近隣散策(惣社・伊川など)へ何度も出掛け、その季節にしか味わうことのできない身近な自然にふれることができた。(ツバメの巣の見学、パッタ探し、タケノコ探し、ドングリ拾いなど) ・年間を通し、個人用の鉢植えや畑で自分たちが育てた野菜を収穫する経験を積み重ねた。栽培方法を調べたり、鳥などから狙われないようにするための方法を考えられるようにしていったことで、より野菜に思いを寄せ育てていく姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然とかがわることに力をいれて教育していることがよく分かる。いかわ幼稚園ならではの自然環境をうまく活用し、命を大切にすることを大切にしている。 ・幼稚園で人への思いやりや感謝の気持ちが育っている。さらに成長してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自身が地域の自然環境に興味をもってかかわり、年間を通して幼児が身近な地域の自然にふれられるように計画していく。
	自分の思いを素直にのびのびと表現する	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを素直に出す機会を大切にし、自信をもって伸び伸びと表現できるようにする ・一人一人のよさや持ち味を丁寧に認め、自主性や意欲につながっていくようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の幼児が表現している思いを捉え、丁寧に認めていくことで、自分なりの方法で伝えようとする姿が見られるようになった。3学期の生活発表会では自信をもって自分の思いを表現するようになっていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活発表会での子供の姿から、日々の遊びの中で供自身がしたいことや伝えたいことを表現してきた取組が積み重なっていることを感じた。自主性も育ってきている。 ・自分の心の内を口にすることはなかなか大変であるが、今後も大切に取り組んでほしい。心配や不安を温かく見守っていくことを継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も様々な心動かす体験から、幼児が自分の思いを表現する場を大切にしていく。
	友達と遊びを共有し、思いを分かち合っって遊ぶ楽しさを味わう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と思いや考えを伝え合いながら、自分たちで生活や遊びを進めていけるようにする ・友達とのかかわりのなかで、互いの思いを感じたり分かち合ったりする経験を積み重ねていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの振り返りやクラス全体の活動の中で、幼児が自分の思いを出す機会を多くもち、周囲の友達から認められることで自信をもてるように支えていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と思いや考えを伝え合う機会を意図的につくることのできる。 ・遊びを通して一人一人が思いを出す姿を教師が大切にしておき、子供たち同士のかかわる姿にもつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とかわりながら、自分の考えや思いを十分に出したり、相手の考えや思いを受け入れたりする機会を大切にしたい保育を実践していく。
	必須テーマ	①教職員の業務改善	3	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な勤務体制の職員がいる中で、限られた時間内で詳細に準備されるよう、職員会の時間短縮のために事前に資料の回覧するなど工夫をしていった。 ・園務分掌に関しては係だけでなく、その他の職員も情報共有することで、スムーズに進めることができた。また、そうしたことが退勤時間を早めることにもつながっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が働きやすい職場の為に工夫たり協力体制があったりすることが、業務改善につながっている。特に退勤時間が遅くならないよう、限られた人数で無理なく行っていることがよい。 ・心のストレスをためないよう、地域でもフォローしていくことが大切だと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早めの計画、時間の有効的な活用、互いの役割分担の進捗状況を確認しながら、どの職員もが気持ちよく働ける、支え合える職場環境をつくっていく。
②保護者・地域への情報提供・発信(すぐるの活用、ホームページ等)		3	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、すぐるの有効活用と、定期的なホームページでの情報発信の仕方を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐるを有効に活用している。忙しい保護者にとっても助かるシステムである。 ・ホームページは未就園児にとって、幼稚園の出来事がよく分かる。1回の更新の内容がしっかりしているので、更新頻度を上げるために、内容を減らすことも考えてみてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐるは引き続き活用していき、園と保護者にとって便利に使用できるように工夫していく。 ・ホームページは、定期的に更新できるよう、工夫しながら無理なく継続できるようにしていく。 	
③学校生活のルールや決まり(校則など)について		3	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の実態や保護者の願い、地域との連携から、自園の特色に応じて取り組んでいく 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員を中心に保護者の願いや思いを捉え、取り組んでいった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員は園と保護者をつなぐパイプ役なので、今後のPTAの在り方が変わっても、この役割は継続してほしい。 ・今後も役員を中心に保護者の思いや願いを大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の願いや思いを大切にしながら、幼稚園の取組に協力いただけるようにしていく。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある